

大野市保健対策推進協議会
会 議 次 第

日時) 令和6年8月22日(木) 午後7時～午後8時
場所) 結とぴあ 1階 保健センター

1 開会

2 副会長の選出について

○副会長：脇本委員（大野市区長連合会）

3 協議事項

(1) 令和5年度健幸おおの21推進項目の取組状況について 【資料1】

○事務局：資料1に基づき説明

【主な意見等】 特になし

(2) 令和5年度保健事業実施状況について 【資料 大野市保健衛生の統計】

○事務局：令和5年度の主な事業について説明

【主な意見等】

- ・ 特定健康診査について、令和5年度受診者数が少ない。令和6年度の見通しと受診者数が減少したことに対する対策は。
⇒令和6年度が6月に始まったばかりであるため、まだはっきりしたことは言えない。受診率向上のため、検診の大切さを知ってもらう個別の受診勧奨を今年度も行う予定。
- ・ 健康相談の重点施策にある歯科検診とは何か。
⇒休日の集団検診時に行った歯科検診のことである。

(3) 令和6年度おおのヘルスウォーキングプログラム事業について

【資料2】

○事務局：資料2に基づき説明

【主な意見等】 特になし

(4) 令和6年度歯周疾患検診について

【資料3】

○事務局：資料3に基づき説明

【主な意見等】

- ・ 歯周疾患検診にかかる時間はどのくらいか。
⇒人によって異なるが、10分ほどである。
- ・ 市内の歯科医院で1,000人もの対象者を診察するのは大変ではないか。

受診率をあげることは負担となるのではないか。
⇒予約制なので大丈夫である。

4 その他

- ・市民の健康づくりについて思うこと、第4次健康おおの21の取組みについて力を入れていること、PRしたいことなど各委員からお話をお伺いしたい。
- ・コロナワクチンの補助金額はいつ決まるのか。
⇒ワクチン代が決まっていない。今後決まり次第、速やかに連絡したい。
- ・令和6年度から歯の健康ひろばを再開した。以前に比べて参加者が少なかったため、また増加させたい。
- ・今年から始まった歯周疾患検診は良い企画であるため、今後も継続してほしい。
- ・誰一人取り残さないことがポイントである。一律の政策をするのではなく、優先順位をつけ、大野市の弱い部分を優先的に取り組むと良い。
- ・AIを用いると効率が上がる。若手職員の意見を聞きながら取り組むと良い。
- ・学校にたばこ・アルコール薬物の授業に出向いている。今後は地域連携として、介護等との情報共有を始めないといけないと考えている。
- ・子どもの視力の低下が問題となっている。健康おおの21には視力についての項目がない。学校としてはどうしたらよいのか困っている。
⇒次期の計画には、子どもの頃からの健康づくりについても考えていきたい。
- ・企業の健康診断を実施している。市同様、受診率が下がっているが、職員の健康が大切であることから今後も継続していきたい。
- ・職員には毎月の配布物に健康チェック票を同封し健康状態を確認している。
- ・夏休みにラジオ体操を推進している。また、閉じこもり予防のため、多くの人に運動会等に参加してもらっている。
- ・集団検診では行わない検査をしたり、各種会議の終了時にはわてら体操を行い、健康に向けた取り組みを行っている。
- ・今年度は減塩をテーマに活動をする。働く世代を集めることが難しいため、商工会議所には事業所を紹介してもらいたい。
- ・ヘルスウォーキングはとても良い事業である。活動量計をつけていると、地域を歩きやすい。

5 閉会